

を敷へない」

◎ブラヴダ、米国の戦力増強を論ず

△サンフランシスコ電報 二月十五日 英語放送

(モスコイ發) 赤軍機報紙ブラヴダは次の如く述べてゐる。

「間もなく太平洋に於て樞軸陣に對して大規模な攻勢が開始されるであらう。米國は日本打倒のために許々その戦力を増強してゐる。米國の力は固く強固なものであり、弱体化されて行くのに對し、一方日本は南方へ南方へと進んでゐるので、どんどん弱体化してゐる」

◎日本、北の脅威加はる

△サンフランシスコ電報 二月十四日 英語放送

(ワシントン發) アラスカ總督ゲーリングは今朝日夜ルーズヴェル大統領と會見した後次の如く語つた。「太平洋戦争に對するアラスカの地位は防衛云ふより寧ろ攻勢の基地である。アラスカの軍事強化は最も必要である」土曜日朝官報で傍受したシベリアのラジオ放送は「極東の情勢は益々悪化した、我々は敵の侵略に對して充分反撃の用意が出来てゐる」

外國宣傳情報 第二百二十號

昭・一六・三・二六
情報部第一二部第二課

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、直譯又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的な報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

◎ソ聯對日攻勢の絶好機

日ソ關係を繞つての憶測愈々活潑化して來てゐるが南方に於ける日本の壓倒的優勢に動きのされぬ敵側殊に直譯にあつてはソ聯引込みに懸念で、日本のシベリア進取が獨軍の春季攻勢と同時に進行されるは確かなる情勢の有利な現在こそ先手を打つべき絶好機なりこの宣傳盛んなり

△バンドン電報 二月十五日

米CBS放送局バタヴィア特派員ウイリアム・ダニングは次の如く傳へてゐる

75